

9

- ・日常点検項目の判定基準は自動車使用者に周知徹底を図る。
- ・「●」印は法定項目、「○」はメーカー指定項目を示す。
- ・「◇」印はシビアコンディション時（メーカー指定）、「◆」は距離項目（法定）の点検時期を示す。

■ 点検整備項目

点検整備項目			点検整備時期						判定基準	備考									
			自家用			事業用等													
点検箇所		点検項目	日常点検	6か月毎	1年毎	2年毎	6か月毎	1年毎	2年毎										
かじ取り装置	ハンドル	操作具合				●		○	●										
	ギヤ・ボックス	取付けの緩み			◇	◆		○	◆										
		油もれ							○										
	ロッド及びアーム類	緩み、がた及び損傷				◆		○	◆										
		ボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂及び損傷			◇	●		○	●										
	かじ取り車輪	ホイール・アライメント				◆			◆	トーイン	0±3mm								
			キャンバー 左右差 45'以内	フロント	トラック, パネルバン	0°±45'													
					バン, ディアス	0°±45'													
ワゴン					0°30'±45'														
リヤ	トラック, パネルバン	0°35'±45'																	
	バン, ディアス	0°15'±45'																	
	ワゴン	-0°5'±45'																	
ナックル (センターアーム)	連結部のガタ							○											
パワー・ステアリング装置	取付けの緩み				◆			◆											
制動装置	ブレーキ・ペダル	遊び及び踏み込んだときのペダルブラケットのナットとの距離	●		●	●		●	●	・遊び 1～3mm ・踏力約294N {30kgf} で踏込時ペダルブラケットのナットとの距離 50mm以上									
		ブレーキのきき具合	●		●	●	○	●	●	<table><tr><td></td><td>制動力</td></tr><tr><td>後輪和</td><td>軸重の 10%以上</td></tr><tr><td>各輪左右差</td><td>軸重の 8%以下</td></tr><tr><td>総和</td><td>検査時車両重量の50%以上</td></tr></table> (注) 前軸の全ての車輪がロックし、計測困難な場合は、その状態で総和に対し適合するとみなす。			制動力	後輪和	軸重の 10%以上	各輪左右差	軸重の 8%以下	総和	検査時車両重量の50%以上
		制動力																	
	後輪和	軸重の 10%以上																	
	各輪左右差	軸重の 8%以下																	
	総和	検査時車両重量の50%以上																	
駐車ブレーキ・レバー	引きしろ, 踏みしろ		●	●	●		●	●	<table><tr><td>操作力</td><td>196N {20kgf}</td></tr><tr><td>引きしろ</td><td>7～9ノッチ</td></tr><tr><td>全ストローク</td><td>17ノッチ</td></tr></table>		操作力	196N {20kgf}	引きしろ	7～9ノッチ	全ストローク	17ノッチ			
		操作力	196N {20kgf}																
	引きしろ	7～9ノッチ																	
全ストローク	17ノッチ																		
ブレーキのきき具合		●	●		●	●	<table><tr><td>操作力</td><td>400N {40kgf} 以下</td></tr></table>		操作力	400N {40kgf} 以下									
操作力	400N {40kgf} 以下																		
ロッド及びケーブル類	緩み, がた及び損傷				◆			◆											
ホース及びパイプ	漏れ, 損傷及び取付状態	◇	●	●	○	●	●												

点検整備方式

点検整備項目			点検整備時期							判定基準	備考
			自家用		事業用等						
点検箇所		点検項目	日常点検	6か月毎	1年毎	2年毎	6か月毎	1年毎	2年毎		
制動装置	リザーバー・タンク	液量	●							● 液面レベル MAXラインとMINラインの間にあること	
	マスター・シリンダー、ホイール・シリンダー及びディスク・キャリパー	液漏れ			●	●		●	●		
		機能、摩耗及び損傷				●			●		
	ブレーキ・ドラム及びブレーキ・シュー	ドラムとライニングのすき間			◆	◆		◆	◆		● 自動調整式のため点検不要
		シューの摺動部分及びライニングの摩耗	◇	◆	◆	○	◆	◆		標準厚さ 4.5mm 使用限度 1.7mm	
		ドラムの摩耗及び損傷		◇	●		○	●		標準径 200mm 使用限度 202mm	
	ブレーキ・ディスク及びパッド	ディスクとパッドとのすき間			◆	◆	○	◆	◆		● 自動調整式のため点検不要
		パッドの摩耗	◇	◆	◆	○	◆	◆		標準厚さ 9mm 使用限度 1.5mm 注)	注) 赤帽車は2.0mm
		ディスクの摩耗及び損傷		◇	●		○	●		標準厚さ 18mm 使用限度 16mm	
	走行装置	ホイール	タイヤの空気圧 単位Kpa〔kgf/cm ² 〕 定積載 ()内は 2名+100kg以下の時	●							タイヤの仕様 145R12-6PR 240〔2.4〕 300〔3.0〕 LT (200〔2.0〕) (220〔2.2〕) 145R12-6PR 240〔2.4〕 260〔2.6〕 LT 注) (220〔2.2〕) (220〔2.2〕) 155/80R12 220〔2.2〕 220〔2.2〕 77S (200〔2.0〕) (220〔2.2〕) 165/70R13 200〔2.0〕 220〔2.2〕 79S
		タイヤの亀裂及び損傷	●								
		タイヤの溝の深さ及び異常な摩耗	●		●	●	○	●	●	● 残溝 1.6mmまで	
		ホイール・ナット及びホイール・ボルトの緩み		◆	◆		◆	◆		● ホイール・ナットの締付けトルク 8.0～10.0kg・m	
		フロント・ホイール・ベアリングのがた			◆			◆		● アクスル中心部における軸方向の遊び 0～0.05mm	
		リヤ・ホイール・ベアリングのがた			◆			◆		● アクスル中心部における軸方向の遊び 0～0.3mm	
緩衝装置		取付部及び連結部	緩み、がた及び損傷		◇	●		○	●		
		ショック・アブソーバ	油漏れ及び損傷			●			●		
動力伝達装置	クラッチ	ペダルの遊び及び切れたときのペダルブラケットのナットとの距離		●	●		●	●		● 遊び 5～15mm ● 切れたときのペダルブラケットのナットとの距離30mm以上	● AT車は点検不要
	トランスミッション及びトランスファー	油漏れ及び油量		●	●		●	●		● レベルゲージのF～L間にあること	

点検整備方式

点検整備項目			点検整備時期							判定基準	備考
			自家用			事業用等					
点検箇所	点検項目	日常点検	6か月毎	1年毎	2年毎	6か月毎	1年毎	2年毎			
動力伝達装置	プロペラシャフト及びドライブ・シャフト	連結部の緩み		◆	◆		◆	◆			
		自在継手部のダスト・ブーツの亀裂及び損傷		◇	●		○	●			
	デファレンシャル	油漏れ及び油量			◆		○	◆	フィラプラグ穴下面より0～5mm間にあること	・4WD車のフロントのみリヤは点検不要	
電気	点火装置	点火プラグの状態		●	●	○	●	●		・白金プラグは点検不要	
		点火時期		●	●	○	●	●	BTDC 10°/750rpm	・点検調整時はテストモードコネクターを接続すること。	
装置	バッテリー	液量	●						・液面レベル UPPER LEVEL～LOWER LEVEL間にあること		
		ターミナル部の接続状態		●	●		●	●			
	電気配線	接続部の緩み及び損傷			●			●			
原動機	本体	かかり具合及び異音	●								
		低速及び加速の状態	●						アイドリング回転数 750rpm	・P又はNレンジ	
		排気の状態		●	●		●	●			
		エア・クリーナー・エレメントの状態	◇	◆	◆	○	◆	◆			
	潤滑装置	油漏れ		●	●		●	●			
		油量	●						・レベルゲージの○～○間にあること		
	燃料装置	燃料漏れ		◇	●		○	●			
		リンク機構の状態			●		○	●			
		スロットル・バルブ及びチョーク・バルブの状態			●		○	●		・スロットル・バルブの状態	
	冷却装置	水量	●						・リザーバ・タンクFULL～LOW間又はF～L間にあること		
		水漏れ		●	●		●	●			
ばい煙・悪臭のあるガス・有害なガス等の発散防止装置	ブローバイ・ガス還元装置	メーターリング・バルブの状態			●			●			
		配管の損傷			●		○	●			
	燃料蒸発ガス排出抑止装置	配管等の損傷			●		○	●			
		チャコール・キャニスターの詰まり及び損傷			●		○	●			
		チェックバルブの機能			●		○	●			
	一酸化炭素等発散防止装置	触媒反応方式等排出ガス減少装置の取付けの緩み及び損傷			●		○	●			
		配管の損傷及び取付状態			●		○	●			
熱害防止装置	遮熱板の取付けの緩み及び損傷			●		○	●				

点検整備方式

点検整備項目		点検整備時期						判定基準	備考
		自家用			事業用等				
点検箇所	点検項目	日常点検	6か月毎	1年毎	2年毎	6か月毎	1年毎	2年毎	
灯火装置及び方向指示器	作用	●							
窓ふき器、洗浄液噴射装置	作用	●							
エグゾースト・パイプ及びマフラー	取付けの緩み及び損傷			●	●		●	●	
	マフラーの機能				●			●	
車枠及び車体	緩み及び損傷				●			●	
運行において異状が認められた箇所	当該箇所の異状がないことを確認	●							
電気装置	充電発電機			○	○	○	○	○	
原動機	本体						○	○	4万km毎の点検
	スーパーチャージャーベルトの緩み及び点検			○	○	○	○	○	
	過給装置				○		○	○	

点検整備方式

■ 定期交換部品項目

定期交換部品項目	交換時期				備 考
	年 毎 交 換 単 位 : 年		走 行 キ ロ 毎 交 換 : 千 km		
	自家用	事業用等	自家用	事業用等	
ブレーキ液	2	2			
ホイール・シリンダーのゴム部品	2	2			
ブレーキ・ホース	4	4			
トランスミッション・オイル			40	40	
デファレンシャル・オイル			40	40	
点火プラグ			100	80	白金プラグ
			20	20	白金プラグ以外
エア・クリーナー・エレメント			40 「20」	20	
タイミング・ベルト			100	100	
エンジン・オイル・フィルター			10 「5」	5	
エンジン・オイル	0.5 「0.25」	0.25	10 「5」	5	
燃料フィルター			60	40	
冷却水	2	2	40	40	

- 注) 1. 交換時期は年又は走行キロどちらか早い方にて交換する。
 2. 「 」印はシビアコンディション時での交換時期を示す。

エ ン ジ ン			イグニッション コイル		1次コイル		計測不可			
					2次コイル		24kΩ±15%			
エンジン区分	NA	EN07V	オルタネーター		出力 V-A		12-55			
	SC	EN07Y			調整電圧 V		14.2~14.8			
排気量 cm³		658	スターター 出力 KW		2WD MT		0.65			
内径×行程 mm		56.0×66.8			4WD MT		0.75			
					AT		0.8			
最高出力 kW[PS]/rpm	NA	35 {48} /6400	Vリブドベルト のたわみ mm/98N(10kgf)	NA	ALT	点検時 (継続品)	10.5~13.5			
	SC	43 {58} /6000				交換時 (新品)	7.5~10.5			
最大トルク N·m/rpm	NA	58/3200			ALT +A/C	点検時 (継続品)	6~7			
	SC	74/4000				交換時 (新品)	5~6			
圧縮比	NA	10.2			SC	ALT	点検時 (継続品)	10.5~13.5		
	SC	8.9					交換時 (新品)	7.5~10.5		
圧縮圧力 kPa [kgf/cm²] -rpm	NA	1140 {11.6} -300				ALT +A/C	点検時 (継続品)	4~6		
	SC	1020 {10.1} -300					交換時 (新品)	4~5		
アイドル回転数 rpm		750				サーモスタット	SC	点検時 (継続品)	6.5~7.5	
点火時期 BTDC°/rpm		10/750						交換時 (新品)	5.5~6.5	
バルブクリアランス mm	IN側	0.15±0.02	ラジエータキャップ 開弁圧 kPa {kgf/cm²}	MT			リヤヒーター 無 し	5.1		
	EX側	0.20±0.02					リヤヒーター 有 り	5.4		
エンジンオイル油量 ℓ	MT	3.0	冷却水全容量 ℓ	NA			AT	リヤヒーター 無 し	6.0	
	AT	3.0						リヤヒーター 有 り	6.3	
シリンダーヘッド歪み限度 mm		0.05								
シリンダーヘッド研磨限度 mm		0.15								
マニホールド締付けトルク N·m [kgf·m] (冷間)	吸 気	19±2 {1.9±0.2}								
	排 気	30±5 {3±0.5}								
ヘッドボルト 締付けトルク (冷間)	①ワッシャーおよびヘッドボルトネ ジ部にエンジンオイルを塗布する。									
	②順に各ボルトを29N·m {3.0kgf·m} のトルクで締付ける。									
	③全数締付後、全数のボルトを一旦 完全に緩める。									
	④順に中心のボルト6本を25±0.5N·m {2.6±0.05kgf·m}、外側の4本を 20±0.5N·m {2.0±0.05kgf·m} の トルクで締付ける。									
	⑤最後に、全ボルトを順に90°増し締 めする。									
スパークプラグ	NA(赤帽車を除く)	BKR5E								
	SC(赤帽車を除く)	BKR6E								
	赤帽車	BKR6EKPA								
スパークプラグ ギャップ mm	NA・SC(赤帽車を除く)	0.7~0.8								
	赤帽車	0.8~1.0								

サービスデータ

冷却水全容量 ℓ	SC	MT	リヤヒーター 無 し	6.0	フ ア ラ ン ト ホ イ メ ン ト リ ア ラ イ メ ン ト	トーイン mm		0±3	
			リヤヒーター 有 り	6.3		キャンバー ±45' 左右差 45'以内	トラック, パネルバン	0°	
		AT	リヤヒーター 無 し	6.1			バン, ディアス	0°	
							ワゴン	0°30'	
						サイドスリップ mm/m	0±4		
リザーブタンクのFull レベルまで	AT	リヤヒーター 無 し	6.1	リ ア ラ イ メ ン ト	トーイン mm		0±3		
リヤヒーター 有 り					6.4	キャンバー ±45' 左右差 45'以内	トラック, パネルバン	0°35'	
		バン, ディアス	0°15'						
ワゴン		-0°05'							
アイドルCO濃度 %					0.5以下	サイドスリップmm/m (参考値)			0±5
アイドルHC濃度 ppm				450以下					
トランスミッション					地 上 高 mm 公差 ⁺¹² ₋₂₄ 左右差 10mm以内	フ ロ ン ト	トラック	145R12	316
ギヤオイル 油量 (ℓ)	4WD	セレクトイブ	5MT	2.1			パネルバン	145R12	315
			EL+5MT	2.3			バン	145R12	315
			EL+5MT デフロック 付き	2.4			ディアス	145R12	314
							155/80R12	319	
		フルタイム	5MT	2.2			ワゴン	165/70R13 79S	307
		フロントデフ				0.8	リ ヤ	トラック	145R12
ATF油量 (ℓ) オイルクーラー 分を含む	2WD (赤帽を除く)		3.8	パネルバン		145R12		282	
	2WD (赤帽)		4.1	バン		145R12		277	
	4WD		4.2	ディアス		145R12		276	
						155/80R12		281	
						ワゴン		165/70R13 79S	269
注) 実車でドレインプラグから抜いた時, 約1.5ℓだけ抜ける (ATF)					アクスルナット 締付けトルク N・m[kgf・m]		フロント	177±20 {18±2}	
ボ デ イ							リヤ	186±20 {19±2}	
					ハブボールベア リングのがた mm		フロント	0.05以下	
							リヤ	0.3以下	
					ホイールサイズ (標準装着)		ワゴンを除く	12×4.00B	
							ワゴン	13×4.50B	
フューエルタンク容量 ℓ				40	ホイールナット締付けトルク N・m[kgf・m]				88±10 {9±1}
フューエルポンプ吐出量 L/H				80以上					
遊び mm				1~3	タイヤ空気圧 kPa[kgf/cm ²]				
ブレーキペダル	踏込時ペダルブラ ケットのナットと の距離 mm	140以上 踏力 約294N {30kgf}	遊び mm	5~15	145R12-6PR LT トラック, バン, パネルバン	定積載	前輪	240 {2.4}	
							後輪	300 {3.0}	
クラッチペダル	切れたときのペダル ブラケットのナット との距離 mm	30以上				2名+ 100kg以下	前輪	200 {2.0}	
							後輪	220 {2.2}	
					145R12-6PR LT ディアス	定積載	前輪	240 {2.4}	
							後輪	260 {2.6}	
						2名+ 100kg以下	前輪	220 {2.2}	
							後輪	220 {2.2}	

サービスデータ

155/80R12 77S	定積載	前輪	220 {2.2}	パッドの厚さ mm	標 準	9.0								
		後輪	220 {2.2}		限 度	2.0								
	2名+ 100kg以下	前輪	200 {2.0}	ディスクの厚さ mm	標 準	18.0								
		後輪	220 {2.2}		限 度	16.0								
165/70R13 79S		前輪	200 {2.0}	ブレーキの きき具合	<table><tr><td></td><td>制動力</td></tr><tr><td>後輪和</td><td>軸重の10%以上</td></tr><tr><td>各輪左右差</td><td>軸重の8%以下</td></tr><tr><td>総和</td><td>検査時車重の50%以上</td></tr></table>			制動力	後輪和	軸重の10%以上	各輪左右差	軸重の8%以下	総和	検査時車重の50%以上
			制動力											
後輪和	軸重の10%以上													
各輪左右差	軸重の8%以下													
総和	検査時車重の50%以上													
後輪	220 {2.2}													
ステアリングホイールの遊び mm		0~25												
舵角 公差 ^{+1°30'} -2°30'	内側	37°10'												
	外側	31°36'												
ブレーキレバー	引きしろ ノッチ 操作力 196N {20kgf}	7~9	注) 前軸の全ての車輪がロックし、計測困難な場合は、その状態で総和に対し適合とみなす。											
	全ストローク ノッチ	17												
ライニング厚さ mm	標 準	4.5	バッテリー型式 () は5時間 率容量を示す	2WD標準	26B17L (12V-21AH)									
	限 度	1.7		4WD, 2WD寒冷地	38B20L (12V-28AH)									
ドラム内径 mm	標準	200	エアコン	冷媒量 g	400±50									
	限度	202												

<関連資料>

SAMBAR 新型車解説書・整備解説書	'00.11	U7361A
SAMBAR 新型車解説書・整備解説書	'00.4	U7351A
SAMBAR 新型車解説書・整備解説書	'99.10	U7344A
SAMBAR 新 型 車 解 説 書	'99.2	U7341A
SAMBAR 整 備 解 説 書 (上 巻)	'99.2	G7341A
SAMBAR 整 備 解 説 書 (下 巻)	'99.2	G7342A
SAMBAR 電 気 配 線 図 集	'99.2	X7341A
SAMBAR 故 障 診 断 書	'99.2	P7341A

㊦ 2,250 - 116

2001 年 8 月 発行 1 版

禁複製・転載

——実費1,100円——

(消費税は含まれておりません)

編 集 ・ 発 行

富士重工業株式会社

東京都新宿区西新宿一丁目7番2号

問い合わせ先：スバル営業本部お客様サービスセンター
サービス部 教育課

< 押賣期間 >

U7361A	11.00'	客運線動差・客運線車庫線
U7351A	1.00'	客運線動差・客運線車庫線
U7344A	01.90'	客運線動差・客運線車庫線
U7341A	5.80'	客運線動差・客運線車庫線
G7341A	5.80'	(巻上) 客運線動差
G7342A	5.80'	(巻下) 客運線動差
X7341A	5.80'	客運線動差・客運線車庫線
P7341A	5.80'	客運線動差・客運線車庫線

② 5.700 - 110

2001 年 8 月 10 日

客運線動差

〔 100 円 1 単位 〕

(人 1 人 1 円 1 単位 100 円 1 単位)

株式会社 日本工務株式会社

千葉・東京

〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

一 本 社 千 代 田 区 千 代 田 1-1-1 本 社 千 代 田 区 千 代 田 1-1-1 本 社 千 代 田 区 千 代 田 1-1-1
 千 代 田 区 千 代 田 1-1-1 本 社 千 代 田 区 千 代 田 1-1-1 本 社 千 代 田 区 千 代 田 1-1-1



SUBARU

富士重工業株式会社

G7371A